

**平成30年度 相談援助業務担当者研修（中堅職員コース）実施要項**  
**～じぶんのしごとの専門性を深める～**

1 目 的	社会福祉施設等における相談援助業務（ソーシャルワーク）は、利用者の自己実現を目指すとともに、利用者主体のサービスを提供するうえで重要な要素のひとつです。相談業務には、ソーシャルワーカーとしての専門性と技術が必要です。普段の業務の中で、利用者と援助職が対面して行う面接が数多くあることも事実です。そこで、相談業務に従事する中堅職員を対象に、自身の相談援助技術を振り返り、さらに深めることを目的として開催します。
2 期 日	<b>平成30年10月15日（月）・16日（火）</b>
3 会 場	茨城県総合福祉会館 4階 大研修室 茨城県水戸市千波町1918
4 対 象 者	社会福祉施設等に勤務し、相談援助業務に従事し概ね3年以上の職員。 【定員96名程度】
5 研修日程	別添、研修日程のとおり
6 受講料	<b>1人9,000円</b> （当日、受付にてお支払いください。） ※茨城県社会福祉協議会会員の事業所等（以下「本会会員」という。）は、 <b>1人5,000円</b> です。
7 申込方法	別紙受講申込書に必要事項を記載し、FAXにより、下記まで送付してください。 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（申込書到着順） ※受講できない方のみ、本会よりで電話でお伝えいたします。 ※FAX到着確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができませんので 予めご了承ください。
8 申込期日	<b>平成30年9月10日（月）～平成30年10月5日（金）【必着】</b> ※本会会員の事業所は、8月27日（月）から申込み可とします。
9 そ の 他	① 受講申し込み後に、欠席または申し込み事項に変更がある場合は、速やかに茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部にご連絡ください。 <u>無断欠席の場合は、「受講料」を請求することがありますので、予めご了承ください。</u> ② 受講申込書に記載された個人情報、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。なお、本研修の受講者名簿に、氏名・所属・職名を掲載いたしますので、ご了承下さい。 ③ 駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。 ④ 天候等の理由により、研修室の安全が確認できない場合は、中止することもありますのでご了承ください。受講当日の時間の変更等は、本会ホームページに掲載します。⇒掲載場所⇒ <b>茨城県社会福祉協議会</b> （ <a href="http://www.ibaraki-welfare.or.jp/">http://www.ibaraki-welfare.or.jp/</a> ）⇒ <b>社会福祉従事者研修ご案内</b> （トップページ右側中段）で検索してください。 ⑤ 服装は、研修を受講するにふさわしい服装でお越しください。（ジャージ、サンダル等不可）。また、体温調節ができるものをご着用下さい。 ⑥ <b>昼食は、各自ご持参ください。</b> ⑦ 研修時に、配慮が必要な方は、事前に下記までご連絡ください。 ⑧ 研修時に、「ルートイン水戸県庁前」（水戸市千波町1953-1 TEL:029-305-0111）ご利用の方は、「総合福祉会館利用者」であることを伝えると、割引を受けられます。
10 問合せ・参加申込先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（平間・勝又） 〒310-8586 水戸市千波町1918 TEL 029-244-3755（直通）FAX 029-244-3210

## 研 修 日 程

日 時	研修科目及び講師名	ねらい
<b>【10月15日】</b> 9:10～ 9:50 9:50～10:00	受 付 開 講・オリエンテーション	
10:00～12:00	講義・演習 「相談援助職に必要とされる技術とは」 (仮) ・相談援助職としてのソーシャルワーク ・自分の癖を知る。支援とは何か。 <b>講 師：東北福祉大学総合福祉学部            社会福祉学科            准教授 竹之内 章代 氏</b>	相談援助業務（ソーシャルワーク）は、利用者の自己実現のサポートや、利用者に対しサービスを提供する上で、重要な援助技術の一つです。相談援助に従事する中堅職員を対象として、日常行っている相談援助技術を振り返るとともに、支援が難しい利用者に対する相談ができる実践力を身に付けられることを目的とします。
12:00～13:00	—昼食・休憩—	
13:00～16:00	講義・演習 「相談援助職としての面接①」(仮) ・利用者・家族を包括的に捉え、よりよい相談支援とは何かを理解する	
<b>【10月16日】</b> 9:00～ 9:30	受 付	
9:30～12:00	講 義 「相談援助職としての面接②」(仮) ・エンパワメントを引き出す ・困難事例とは？何が困難なのか？	
12:00～13:00	—昼食・休憩—	
13:00～16:00	講義・演習 「相談援助職としての面接③」(仮) ・継続的な支援の視点 ・まとめ	
16:00	閉 会	

**講師： 竹之内章代 氏 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 准教授**

茨城県生まれ。日本社会事業大学大学院修士課程修了

池の川幼稚園、茨城キリスト教大学、社会福祉法人嬉泉(知的障害者更生施設・通所)等を経て、現在、東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科准教授、茨城県運営適正化委員会委員長代理、茨城県社会福祉士会会長、茨城県社会福祉士会権利擁護・成年後見センター「ばあとなあひばらき」センター長、NPO法人スペース空（そら）理事長。NPO 法人では、保護者からの子育て相談や発達の相談、保育所や幼稚園の保育者からのかかわり相談などにあたっている。